

日本人拉致に関する北朝鮮に対する申し入れ

北朝鮮は、国のトップが日本人の拉致の事実を認めたにも係らず、その後の調査については誠意ある対応をしていない。国家が、拉致という人道上許すべからざる犯罪を犯していることを、改めて強く認識すべきである。

謂れなき拉致により奪われた被害者の時間、家族の絆は取り戻しようもなく、何を以っても償えるものではないが、ご高齢になられた家族の強い願いでもある被害者全員の一刻も早い帰国を実現することが、この犯罪に対する贖罪の大前提であり、北朝鮮は解決に向けた第一歩を早急に踏み出すべきである。

我らが同胞を何としても取り戻すという確固たる決意の下、「北朝鮮による拉致被害者を救出する知事の会」一同は、自ら採り得る制裁措置等を厳正に実行するとともに、北朝鮮に対して次のことを求める。

- 1 北朝鮮は、日朝実務者協議で合意した再調査を直ちに実施すること。
- 2 拉致した日本国民の安全を確保し、速やかに帰国させること。
- 3 北朝鮮は、拉致問題の真相を究明し、世界に明らかにするとともに、日本人拉致の実行に係る被疑者を我が国に引き渡すこと。

平成21年1月13日

北朝鮮による拉致被害者を救出する知事の会
会 長 東京都知事 石原 慎太郎